



令和6年度第1回川崎地域地域医療構想調整会議
参考資料4-1

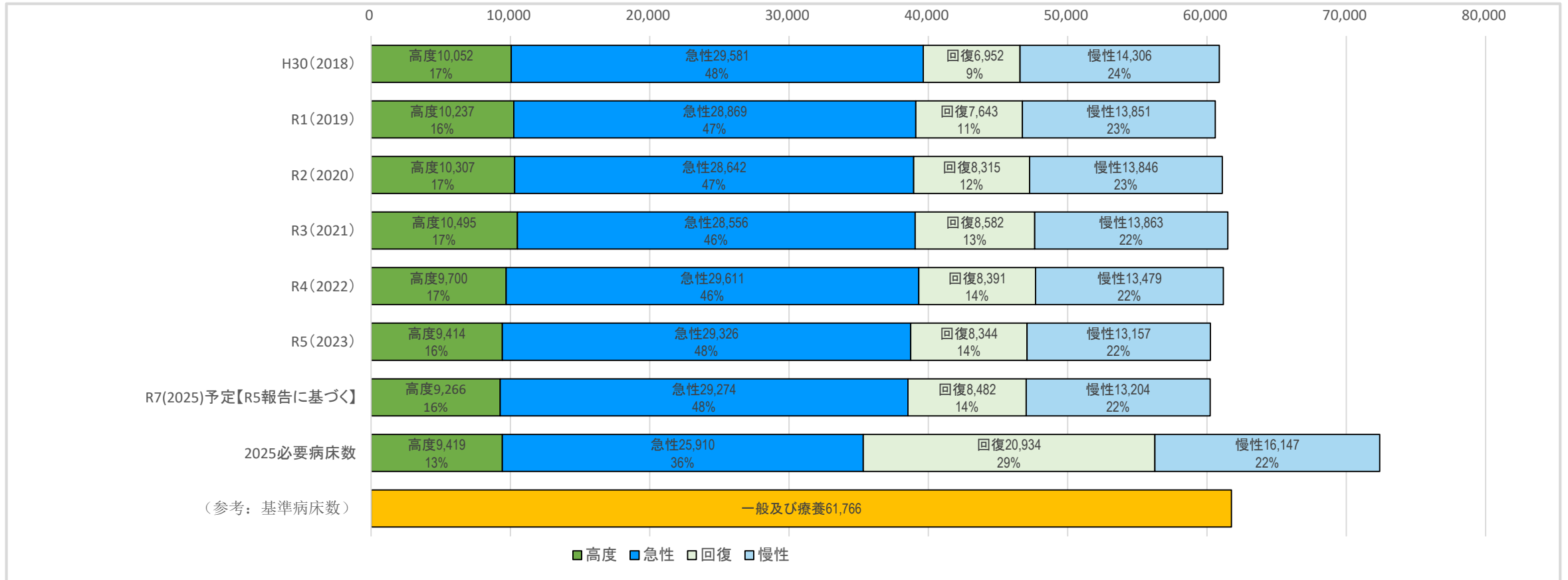
報告：令和5年度病床機能報告結果(速報値)

1. 速報値（県全体）

項	4機能区分						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護医療院等	計
2023.7.1 時点(A)	9,414	29,326	8,344	13,157	1,142	－	61,383
2025時点 【R5報告に基づく】 見込(B)	9,266	29,274	8,482	13,204	974	80	61,280
必要病床数(C)	9,419	25,910	20,934	16,147	－	－	72,410
(A) - (C)	△5	3,416	△12,590	△2,990	【1,142】	－	△11,027

※ 休棟中等には休棟中、廃止予定等のほか、未選択の病床数を含む。

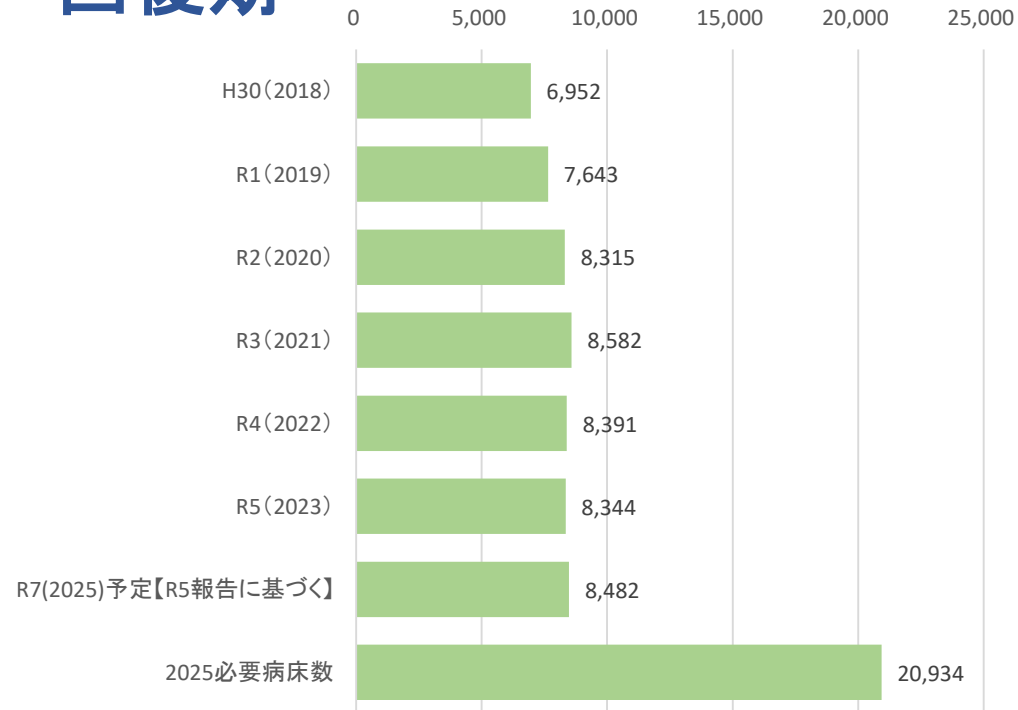
2. 病床数の推移（病院＋診療所）



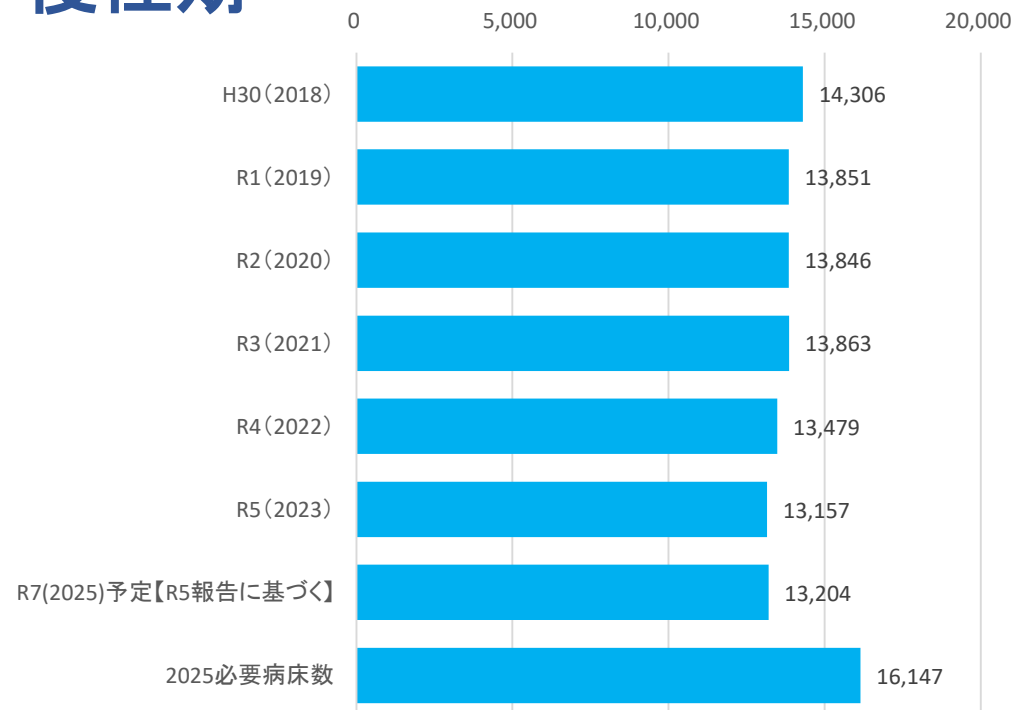
➤ 必要病床数として推計した4機能区分の割合と比較すると、急性期の割合が多い

3.回復期・慢性期病床数の推移、その他

回復期



慢性期



2025年の予定病床数に対する必要病床数：回復期：12,452床不足、慢性期：2,943床不足

【その他】

2025年時点の休棟中の病床：363床と昨年度報告時より増加している。

2025年が目前に迫っていることから、休棟等の病床に関する対応については今後検討が必要。